

やみー・やみー・やみー
Yummy³ NO.96
通信
 生活クラブ生活協同組合

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225
 9月供給高 4888.0万円 (前年比 110.2%)
 9月組合員数 3,043人 (前年比 106.2%)

生活クラブ奈良

検索してみてください

「リフレッシュツアー」開催

8月28日～31日 明日香村の橘寺に
 福島から参加の3家族をお迎えして

「生活クラブが取り組む リフレッシュツアー」の意義

2011年3月に起きた東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から7年以上が経ちましたが、放射能への対策はまだ必要です。放射能の心配のない地域で保養すると、体内に蓄積された放射性セシウムは約3週間である程度排出されると言われています。また、水遊びや土遊びなどを自由にやれることは、子どもの心身の健康にとって重要なことですし、子どもたちが楽しく遊んでいる姿を見ることは、親の心理面の改善も期待できます。リフレッシュツアーは、先の組合員と交流して放射能問題を共有できることは、福島や栃木の組合員にとって精神的に開放される大切な機会なのです。(生活クラブ)

「生活クラブ奈良での初めての取り組み」

今年の総代会で、奈良の活動方針の一つとして、リフレッシュツアーに取り組みむことを活動方針にあげました。ただ初めての事は、関西の他単協に問い合わせたり、事務局に心配をかけたたり、連絡が不十分で協力を申し出てくれた組合員にご迷惑をおかけするなど、準備の段階でいくつもつま



28日、3家族は福島県の郡山駅から東京で乗り換えて京都に着き、京都でお迎えして、自由行動の後、近鉄で橿原神宮前へ、タクシーで橘寺へ無事到着しました。

29日、3家族はそれぞれ明日香村近辺をバスで散策に。午後から交流会

「8月28日～31日 3泊4日の日程」

開催時期が福島県の新学期開始の時期と重なりましたが、3家族(大人5人子供6人)の申込みがありました。往復の交通費と甲狀腺検査代は、全国の組合員が取り組んでいる復興支援カンパ金から賄われます。その他の費用は奈良単協で賄うため、カンパを呼び掛けるチラシも2回入れました。

30日、1家族は明日香村を散策もつ1家族は三輪神社へ。残りの1家族は、甲状腺検査を受けるため耳鼻科へと送迎。以前嚢胞があると言われていた中学生が、検査で嚢胞がなくなっていることがわかり、親御さんもほっとされています。この検査は午前中で終わり、この一家は奈良公園周辺を散策しました。

31日、3家族は橘寺を出発して朝市に寄ってから明日香村を後にしました。私たちは京都駅で待ち合わせしてお別れをしました。皆さ

準備です。夕食メニューは子どもに合わせてカシとコロケ、柿の葉寿司、野菜BOXの野菜でオクラやツルムラサキのあえ物、伊勢ビーマンの揚げたしなどを準備。交流会は組合員・理事・事務局・橘寺のご住職とお手伝いの方・福島3家族の総勢28人での会になりました。やはりカリーは子ども達に人気でモリモリ食べ、親御さんたちも消費材尽くしのメニューを大変喜んでくださいました。交流会ではたくさんお話を伺って、本当に貴重な会でした。特に、中学生の一人が、地震の時卒園式ですごく揺れて怖かったこと、小学校の入学式にはいない友達がいなくて悲しかったこと、等を切々と語り、胸が締め付けられる思いでした。子ども達は食べ終わったら花火へ。大人たちは名残を惜しんで片付け終了。

この新しい10原則は、以前の『原則』の考え方を概ね引き継ぎ、表現を見直し、よりわかりやすく伝えやすいものとなりました。特筆すべきは、取り巻く環境がますます厳しさを増す中で、命の産業(農業・林業・漁業・畜産業)の持続力を私たちの共同購入を通じて支え、国内自給力を高めようという第3原則。今までの取り組みを明文化した

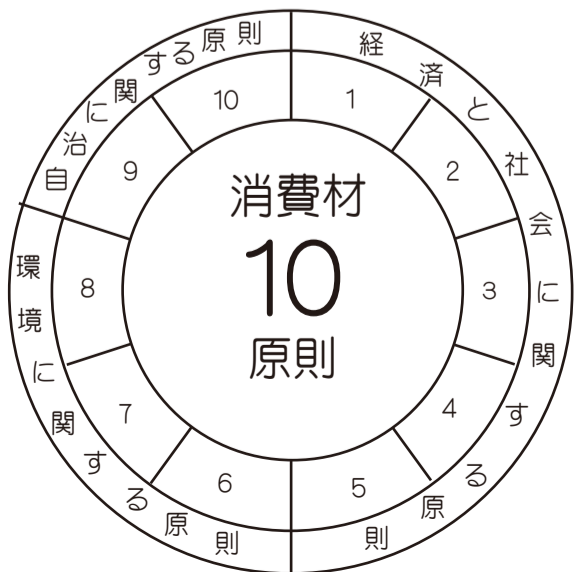
「リフレッシュツアー」に
 取り組んで
 この度のリフレッシュツアーでは、明日香村のご住職の奥様が組合員であり、ご協力を申し出て下さって宿坊宿泊が実現しました。感謝の思いでいっぱいです。3家族が使われた部屋の障子が結構破れてしまっていたのですが、小さい子どもたちのするところからと、大変温かい目で見守って下さいました。また、ご住職も自らたこやきを焼いてふるまったり下さったり花火を率先してやって下さったりと本当にありがたいごさ

今後も継続できたらいい活動だと思えます。皆様からのカンパでの活動参加ありがとうございました。担当理事 岡田真澄

消費材について追及すべき『原則』(「安全・健康・環境」生活クラブ原則)が1997年に定められてから20年あまり。この度、国連の「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」(2015年採択)やOP2の「パリ協定」(2016年発効)などの最新情報を踏まえて、この『原則』をバージョンアップし、新しく『生活クラブの消費材10原則』となりました。

消費を通して健康で安心な社会へ

新しくなった生活クラブの消費材10原則



- 第1原則 安全性を追求します
- 第2原則 遺伝子操作された原材料は受け入れません
- 第3原則 国内の自給力を高めます
- 第4原則 公正で責任のある原材料の調達をめざします
- 第5原則 素材本来の味を大切にします
- 第6原則 有害化学物質を削減します
- 第7原則 3Rを推進し、さらなる資源循環をすすめます
- 第8原則 温室効果ガスの排出削減をすすめます
- 第9原則 積極的に情報を開示します
- 第10原則 独自基準を定め、自主的な管理をすすめます

『生活クラブの消費材10原則』についてのご質問などは、担当理事(堀口)までお問い合わせください。

今回は、遺伝子操作に反対する第2原則と素材本来の味を大切にすると第5原則。新たに盛り込まれたのが、公正で責任ある調達を目指す第4原則と温室効果ガスの排出削減を進める第8原則です。

私達の身近な消費材やさまざまな取り組みに、それぞれの原則は反映され活かされています。

今回の原則の見直しにあたっては、組合員と生産者の代表が納得のいくまで検討を重ねると共に、見直し制度継承のために若い世代のチームでの議論を進めました。

各単協での討議を経て、6月の連合総会で決定、10月末までに各単協や生産者に批准を求めることになっています。

(消費担当理事 堀口雅子)
 (次回に続く)